

第 2 章

実践してみました



1

目的地に行こう

教室開催日：毎週木曜日の午前

学習者：約50人 国籍は多様

レベル：初級者対象 レベル別でグループごとに勉強

学習者：14名（フィリピン、ネパール 各4名、インドネシア2名、
アメリカ、スリランカ、タイ、ベトナム 各1名）

コーディネーター：3名 ボランティア：6名

外部協力者：2名

学習者の状況

- 初級の学習者が多い
- 日本語を使う機会が少ない
- 知っている場所しか行けない

学習者の声

- 栄の街を歩きたい
- 自然な会話がしたい
- 楽しい活動がしたい

目標

道を尋ねることができる
地図を見ることができる

活動の流れ

→ 活動案P.56 ポスターP.57

1日目:10月8日(木) 10:20~12:00 (100分)		
活動1	85分	目的地に行こう!
確認1	15分	記憶に残そう!
2日目:10月15日(木) 10:30~12:00 (90分)		
活動2	35分	体験を言葉にしよう!
活動3	45分	体験をみんなに話そう!
確認2	10分	2日間をふりかえって



カリキュラム案
について

P.62~65



教材例集 P.144~153

事前の準備・下調べ

- 街中を歩いて下見し、学習者が関心を持ちそうで、かつ道を尋ねなければたどり着けない目的地を決定。
- 1日目終了後にデジカメの写真データを回収して、スライドショーと写真のダイジェスト版を作成。

活動 1

目的地に行こう！

1. 教室を飛び出し、街に出かけました。
2. タウンマップを使って、今いる場所と目的地を確認しました。
3. 通行人や店員さんなどに積極的に話しかけ、道を尋ねました。
4. 各自興味のあるものを見つけ、質問をしたり、写真を撮ったりしました。



用意したもの

タウンマップ
目的地を示した指示書
デジタルカメラ
スタッフ用指示書



学習者からこんな
日本語ができました

- ☆ すみません、かんらんしゃはどこですか？
- ☆ ばしょ わからないですからおしえてもらいませんか。
- ☆ しやしんをとってください。
- ☆ なぜ なんでいますか？
(行列を見て)
- ☆ 英語のパンフレットはありませんか。

確認 1

記憶に残そう！

1. 今日どんなことをしたか、ふりかえって話しました。
2. 「どこへ行ったか」「何をしたか」「何を話したか」「興味を持ったもの」についてボランティアと話しながら書きました。



用意したもの

ふりかえりシート
スタッフ用ふりかえりシート



学習者からこんな
日本語ができました

- ☆ みつこしかんらんしゃはみつからな
いでたいへんでした。
- ☆ おいしいおかしをみつけました。
おいしそうでしたがたかいです。

活動 2

体験を言葉にしよう！

1. 1日目の写真をプロジェクターを使ってスライドショーで見ました。自分の活動を思い出し、他のグループが何をしたか知りました。
2. 写真を見ながら、自分の体験をボランティアと一緒にことばにしました。
3. 他のグループの人に自分の体験を話し、お互いに質問し合いました。



用意したもの

プロジェクター
スライドショー
パソコン
写真ダイジェスト
ワークシート



学習者からこんな
日本語ができました

- ☆ このmapはいいですね。どこでもらいましたか(質問で)
- ☆ きょうは みんな いろいろはなししたから たのしかったです。

活動3

体験をみんなに話そう

1. みんなに話したいテーマを決めて、自分の体験を文章にしました。
2. ボランティアと一緒に発表の練習をしました。
3. プロジェクターに活動を映して、全員の前で発表しました。
4. 他の人の発表もしっかり聞きました。



学習者からこんな
日本語ができました

- ☆ みんなのまえではなすは どきどきします。
- ☆ こんど家族とオアシスに行きます。

確認 2

2日間をふりかえって

1. 2日間の活動をふりかえり、グループメンバーやボランティアと話しました。
2. ワークシートに感想を記入しました。



学習者からこんな
日本語ができました

- ☆ いろいろものみて はなすれんしゅうができました。
- ☆ ひとにきくのがドキドキしたけど、たのしくておもしろかった。
- ☆ あたらしいことばをしりました。



こんなこともできる!

学習者自身が行き先を決めるために話しあう時間があってもいいですね。

実践を終えて ～ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと～

- ◇ 1日目にはリラックスした状態での自然な会話をしている様子がたくさん見られた。確認の時間では自分の体験をなんとか言葉にして他者に伝えたいという能動的な姿勢が感じられた。
- ◇ 初級の学習者だったので、写真をうまく利用してビジュアルで理解できたのがよかった。
- ◇ ベテランボランティアの自発的な協力により不足を補ってもらえたことが、より良い学習につながった。
- ◇ 活動には教室のボランティアの協力が不可欠だ。事前に活動の理念や手順を共有することが大切だろう。



大切だと思ったこと

- 目標を達成する過程で、楽しみながら自然な日本語を使うことができる。
- 自分の話す日本語が「使える!」「伝わる!」と実感することが、学習者にとって大きな自信につながる。

2

自転車の ルールを知ろう

- ・ 教室開催日：毎週火曜日の午後
- ・ 学習者：名古屋市内およびその近郊で生活する外国人主婦、研修生、学生等
- ・ レベル：来日間もない初級から中上級まで

学習者：10名（フィリピン、韓国、中国、ベトナム、ミャンマー、アメリカ）

ボランティア：9名

外部協力者：2名（交通課警察官）

学習者の状況

- 教室まで自転車を利用している
- 自分の子供が自転車に乗る
- 日本の交通ルールがわからない

学習者の声

- 日本の自転車のルールって？



目 標

正しい自転車の交通ルールを知り、安全な自転車走行ができるようになる。

活動案の流れ

→ 活動案P.58 ポスターP.59

1日目：10月13日（火） 13:30～15:00（90分）

活動1	60分	日本の自転車の交通ルールを知る
活動2	30分	こんな時はどうするの？

2日目：10月20日（火） 13:30～15:00（90分）

活動3	15分	協力者紹介/学習者自己紹介
活動4	75分	おまわりさんによる講習を受ける

3日目：10月27日（火）13:30～15:00（90分）

活動5	90分	あなたの国ではどうですか？
-----	-----	---------------



カリキュラム案
について

P.131

事前の準備・下調べ

- 交通課警察官との打ち合わせ・（日時、講習時間、準備するもの等）
- 活動4で使うDVDを事前に視聴

活動1

日本の自転車の交通ルールを知る

いつものレベル別グループで資料を使って事前学習

1. イラストを見ながら自転車の交通ルールを学びました。
2. 2日目の活動で使うDVDに出てくる言葉をワークシートを使って学習しました。



用意したもの

各国語対応イラスト付き資料
パンフレット(自転車安全教室)
ワークシート(DVDに出てくる言葉)

活動2

こんな時はどうするの？

おまわりさんに聞こう!

次回、おまわりさんに聞きたいことをみんなで出しあいました。



学習者からこんな
日本語ができました

- ☆ 「さすべえ」っていいの?
- ☆ 横断歩道を渡る時、自転車に乗ったまま渡ってもいいの?
- ☆ 自転車って道路の右側?左側?



ここがポイント!

みんなで出し合うことで、ことばの確認ができますね

活動 3

協力者紹介/学習者紹介

学習者は母語で「こんにちは」と挨拶をしました。



少し緊張が
ほぐれたかな?



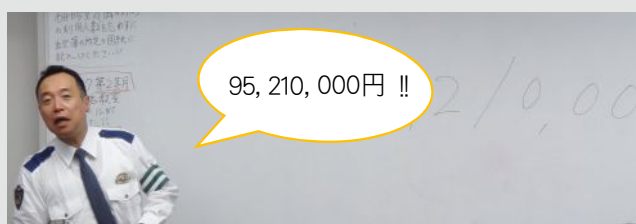
こんなことばを
覚えました

安全・危険・車道・歩道
横断歩道・右側通行・左側通行
損害・歩行者・通学中・衝突
死亡・賠償金・事故・信号無視
二人乗り・禁止 など

活動 4

おまわりさんによる講習を受ける

1. 自転車に乗った少年がサッカーの試合に急ぐ途中、高齢の歩行者と接触事故を起こしてしまう内容のDVDをみました。
2. 賠償裁判の事例の解説を聞きました。
3. おまわりさんに質問しました。



95, 210, 000円 !!



ボールがうまく
とれませ〜ん

ゴーグルで飲酒運転体験



学習者からこんな
日本語ができました

☆難しい!! でも、DVDを見てよくわかりました。



学習者からこんな
日本語ができました

- ☆アルコールは絶対ダメなの?
- ☆死亡と意識不明で損害賠償金の違いはどこから来るの?
- ☆「さすべえ」は違反なの?
- ☆自転車は歩行者信号、自動車信号どちらに従うの?
- ☆ 自転車に乗る時は左側
- ☆ 夜はライトをつける
- ☆ 損害賠償金が高い。
- ☆ 2人乗りはダメ
- ☆ ベルは鳴らさない
- ☆ メガネをかけて飲酒後の危険がよくわかった
- ☆ 今まで知らなかったことを聞いて参考になった。
- ☆ これからも気を付ける。

活動 5

あなたの国ではどうですか？

ボランティアが「あなたの国ではどうですか?」と問いかけ、日本のルールとの違いを確認しながらもう1度交通ルールのおさらいをしました。

	日本	中国	台湾	フィリピン	ミャンマー	ベトナム
	左	右	右	右	右	右
	×	○	○	○	×	×
	×	○	○	○	×	○
	×	○	○	○	×	○
	×	わからぬ	○	わからぬ	×	○
	×	わからぬ	×	○	×	×
	×	○	○	○	×	○
	×	×	×	○	×	○
	○	×	×	×	×	○
	×	×	×	わからぬ	○	×



学習者からこんな
日本語ができました

- ☆日本語がわからない学習者にもやさしい言葉で説明してくれてありがとう。
- ☆DVDを見てルールがわかって安心しました。
- ☆日本に来て自転車のルールがあるなんてびっくりしました。これからは必ず守ります。
- ☆警察の講習でさらに多くの交通規則を知りました。日本で生活に役立ちます。
- ☆自転車は自分にとって便利なもの。これからは安全運転で!



ここがポイント!

それぞれの国のルールを比較する活動はおもしろそうですね! 比較することで日本のルールが理解でき、警察の人や私たちも学ぶことが多いと思います。

実践を終えて ～ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと～

- ◇ テーマが大変身近な問題だったので、学習者もボランティアも熱心に取り組むことができた。
- ◇ 実際に警察の方の話を聞くことができたので、学習者の印象に残る体験学習になった。
- ◇ 初級学習者には、生活情報としての自転車のルールは理解してもらえたと思うが、日本語の定着効果については疑問が残った。
- ◇ 来日間もない学習者が大半だったので、母語で書かれた事前学習が役に立った。
- ◇ 初級学習者を中上級の学習者が手助けした活動は、お互いに良い学習になった。



大切だと思ったこと

- 地域の専門家との打合わせは入念に行い、当日の流れを双方が確認すること。
- 事前学習を怠りなく!

3

買い物に行きましょう

教室開催日：月1～3回 日曜日 午前10:00～11:30

学習者：中国・タイ・インドネシア・モンゴルなど

レベル：初級から上級まで様々

1日目 学習者4名(中国・タイ・インドネシア) ボランティア5名

2日目 学習者7名(中国・タイ・インドネシア) ボランティア7名

3日目 学習者10名(中国・タイ・インドネシア・モンゴル) ボランティア7名

学習者の状況

- 中小企業に派遣の社会人
- 初級程度

学習者の声

- チラシで買い物をしたことがない。
- チラシには独特の難しい言葉がある。

目標

チラシを理解し
ほしい物が購入できる

活動の流れ

→ 活動案P.60 ポスターP.61

1日目：9月6日(日)10:00～11:30(90分)

活動1	60分	チラシについて話し合う。
確認1	30分	みんなで今日学習したことを話し合う。

2日目：9月20日(日)10:00～11:30(90分)

活動2	10分	チラシを理解する
活動3	25分	チラシを使って尋ね、購入する
活動4	25分	購入した物について説明する
確認2	30分	体験したことをみんなで伝え合う

3日目：9月27日(日)10:00～11:00(60分)

確認3	60分	1日目と2日目で、できたことを伝える
-----	-----	--------------------



カリキュラム案
について P.30～41



教材例集 P.93～105

事前の準備・下調べ

- 店に出向き、学習者が興味を持ちそうなチラシを調達した。

活動1 チラシについて話し合う

1. 日本と学習者の国のチラシのあり方について話し合いました。
2. 物の価格について話し合いました。
3. チラシの中のわからない言葉や難しい言葉を理解しました。



用意したもの

「食品スーパー」「ドラッグストア」
「電化ストア」「ホームセンター」
「服飾店」などのチラシ

活動2 チラシを理解する

1. 欲しい物を2～3決め、それを選んだ理由を話し合いました。
2. 欲しい物のチラシを選び、チラシの中の語句について話し合いました。

活動3 チラシを使って尋ね、購入する

教室の中に店舗をつくり、ボランティアが店員となって、買い物しました。

1. 自分の求めている物がその店にあるかどうかを尋ねました。
2. 店員に商品について尋ねました。
3. 日本語で表現し、欲しいものを購入しました。



用意したもの

店舗用の立て札、チラシ
手づくりのお金



こんな日本語を
伝えました

★チラシには独特の表現が使われます。



学習者からこんな
日本語ができました

☆「タイムサービス」って何?



こんなことばを
覚えました

タイムサービス・ブロードバンド
裾が広い まとめ買い 限定
税込み 超目玉



学習者からこんな
日本語ができました

☆この商品のSサイズはありますか?
☆色違いはありますか?
☆ノートパソコンの値段を安くしてく
ださい。
☆このぶどうは甘いですか?



こんな日本語を
伝えました

★サイズや色はあります。
★ブロードバンドに入れば安くなりますよ。
★ぶどうは甘くておいしいですよ。



こんなこともできる!

店舗に用意するのがチラシだと混乱してしまうので、チラシを切り抜いたり、商品カードなどをつくったりするといいかもしれません。カリキュラム案の教材事例集やウェブサイトが活用できます。

活動 4 購入した物について説明する

1. ほしい物が購入できたかどうかボランティアと話し合いました。
2. 購入した物について話し合いました。
3. 自国の商品との違いについて話し合いました。



学習者からこんな
日本語ができました

☆食品スーパーのピアゴは値段が高いです。ヤマナカは安くても買いに行きます
☆ユニクロで以前購入したTシャツが今日は1000円も安くチラシに載っていた。
☆自分でジュースを作りたいのでパナソニックのジューサーミキサーがほしかった。
☆インドネシアではパナソニックの物が人気があります。



こんなこともできる!

せっかくなので、本当にお店に買い物に行ってははどうでしょう? それが難しい場合は、たとえば、不用品バザーのコーナーをつくってみるのもいいかもしれませんね。

確認 2 体験したことをみんなで伝え合う

1. 今日の学習で体験したことをみんなに伝えました。
2. チラシには独特の表現があることを確認しました。



学習者からこんな
日本語ができました

☆本当の店ではなかったけれど、楽しい買い物でした。
☆日本にはチラシがたくさんあります。
☆レジでのおつりの計算はむずかしかったです。
☆お金の支払いが難しかった。



こんな日本語を
伝えました

★チラシを使って買い物をすると、とても安く買うことができます。

確認3

1日目と2日目で できたことを伝える

ふりかえりシートにそれぞれ記入した後、話し合いをしました。

1. チラシを理解することができたか話し合いました。
(チラシの語句、見方)
2. チラシを使って聞きたいことを聞くことができたか話し合いました。
3. 体験したことを伝えることができたか話し合いました。



学習者からこんな
日本語ができました

☆チラシは見たことはあるがあまり
利用していなかった。
☆教室で体験した通り、店に行って前
から欲しかったジューサーやミキサー
を買うことができました。

実践を終えて ～ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと～

- ◇ 体験に参加する学習者の数が予想していたより多く活気があり、良かった。
- ◇ 「模擬とはいえ、とても楽しかった。」「日本語を使う勉強になった。」など学習者も楽しんでくれたので良かった。
- ◇ 模擬店のリアル性にやや欠けたのでもう少し工夫すれば良かった。
- ◇ 学習者が興味のあることを深く掘り下げて話せた。
- ◇ 日本語が理解できない学習者に、ボランティアが質問することで発話を促すことができた。
- ◇ 今回の体験が学習者にとって、意義あるものだったと実感することができた。
- ◇ 学習者のレベルに合わせた教室運営は難しいが、学習者が楽しく、かつ身近な生活から正しい日本語を習得できる場にしたい。
- ◇ これらの体験教室が次の学習展開の礎になると良い。



大切だと思ったこと

- 学習者に説明をするときは、よくわかる、やさしい日本語で話す。
- 「使える日本語」をより知ってもらうために日常生活上よく使う日本語で話すように心がける。
- 学習者の発話を促す言葉がけをする。
- 身近な生活にすぐ使える日本語が学べるテーマや素材を選ぶ。

4

買いものを しよう

教室開催日：毎週金曜日 午後7時～8時30分
学習者：ドミニカ共和国・ベトナム・中国など
レベル：入門から上級まで様々

1日目 学習者3名(中国・ドミニカ共和国・ベトナム 各1名) ボランティア4名
2日目 学習者3名(中国2名 ベトナム1名) ボランティア4名

学習者の状況

○ 日用品の買い物に関心が高い

学習者の声

○ 色々な店を知りたい

目 標

生活に必要な物や
欲しい物を買うことができる

活動の流れ

→ 活動案P.62 ポスターP.63

1日目：10月2日(金) 19:00～20:30 (90分)

活動1	60分	日本の学用品を知る
活動2	20分	学用品の購入先について知る
活動3	10分	一番欲しい物を調べよう

2日目：10月9日(金) 19:00～20:30 (90分)

活動4	70分	買い物の様子を発表しよう
確認1	20分	学習したことをふりかえる



カリキュラム案
について

P.30～41



教材例集 P.93～105

活動 1

日本の学用品を知る

1. 封筒や便箋、色鉛筆などの学用品のサンプルを見ながら、気付いたことを話し合いました。便箋・封筒など使用目的によって形式が違うことがわかりました。
2. 封筒の郵便番号枠や一筆箋など学習者にとって馴染みのない学用品について、使い方やわからないことを尋ねました。



活動 2

学用品の購入先について知る

1. 自分の国では、どこで学用品を買っていたか経験を発表しました。
2. 今、持っている学用品やなど、日本ではどこで買い物しているか話し合いました。



学習者からこんな
日本語ができました

- ☆赤い口は、なんですか?
- ☆それ(色鉛筆)は、アメリカ製ですよ。
- ☆ここに、番号を書きますか?



こんな日本語を
伝えました

- ★郵便局の機械が読み取ってくれます。
- ★これは手紙を書く時に使う便箋です。
- ★スケッチ用の色鉛筆で、鉛筆で描いた後、筆で水書きすると、薄い色がつきます。



学習者からこんな
日本語ができました

- ☆文房具は、本屋で買います。
- ☆ モールで買います。
- ☆ このペンケースは100円ショップで買いました。
- ☆ 安い物」と「安物」とは違います。



こんな日本語を
伝えました

- ★アピタがあるんですね
- ★日本には「安物買いの銭うしない」という諺があります。



ここがポイント!

実際に物があると、学習者同士の会話もはずみますね。

活動 3

一番欲しい物を調べよう

1. 今、一番欲しい物は何か発表しました。
2. 来週までの課題の「欲しい物が売っている店へ行き、値段や品物について調べてくる」についての説明を聞きました。

活動 4

買い物の様子を発表しよう

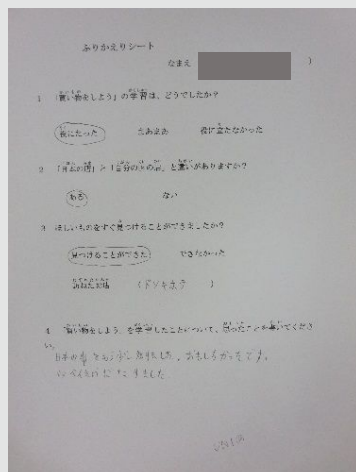
1. 先週出された課題について「どこで」「何を」買ったかを発表しました。
2. 欲しい物がすぐに見つけれられたかなど、買い物の時の様子について話しました。
3. 自分の国の店と違っている点、似ている点について話し合いました。



確認 1

学習したことをふりかえる

1. 買い物の学習は役に立ちましたか」「日本の国と自分の国との違いがわかりましたか」など、ふりかえりシートに書きました。
2. ふりかえりシートを読みながら、学習について話し合いました。



学習者からこんな
日本語ができました

☆タブレットが欲しいです。
☆服が欲しいです。



ここがポイント!

夜の教室なので、一緒に買い物に行くことは難しいけれど、「次回までに調べてくる」という課題を出すという工夫で、実践的な「行動・体験型」にできますね。



学習者からこんな
日本語ができました

☆抹茶味のキットカットを買いました。
ベトナムで人気があります。
☆ドンキーホーテに行きました。
☆タブレットを買いました。店を3軒回りました。国では1.5倍します。
☆「油」という日本語を忘れてしまったので、買えずに家に帰りました。
☆欲しかった日記帳を半額で買いました。



学習者からこんな
日本語ができました

☆これからも もっと 積極的に
買い物します。
☆難しかった。でも楽しかった。

実践を終えて ～ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと～

- ◇ 身近な学用品の実物を提示したことで、学習者の関心を引くことができた。
- ◇ 学習者に提示する学用品を準備する時、次のことに留意したことがよかった。
 - ・一筆箋や縦書きの便箋のように学習者に余り馴染みがなく日本的な物
 - ・使用目的によって形式や種類がたくさんあるような物
 - ・スケッチ用色鉛筆のように、特殊な使い方をするような物
 - ・2日目の課題について学習する時にモデル提示できるよう、半額で購入した日記帳
- ◇ 学習者同士が自ら気付いて発言をしていた。この様な学習者同士の学び合いを大切にしたい。
- ◇ 始めて接する学習者で心配だったけれど、「学習が役にたった」と言われてよかった。
- ◇ 学習者のニーズが多様なので、教室全体で取り組むことが難しい。
- ◇ やり取りをする学習者とボランティアが同じペアだったので、これからは時々相手を変えて話し、多くの日本人と話す機会がもてるように配慮するとよい。



大切だと思ったこと

- 外国の人から出た言葉で、私たちも外国の人から学ぶことができる。



学習者同士が教えあっている

5

チラシを見て 買い物をしよう

教室開催日：土曜：19:00～20:30 木曜、日曜：10:00～11:30
 学習者：ベトナム、中国、フィリピンで75%を占め、約15ヶ国の方が参加
 レベル：入門から初級前半と中級レベルの方が多く、上級レベルの方もいる

学習者：7名（タイ2名・フィリピン2名・ブラジル2名・ベトナム1名）
 コーディネーター：1名 ボランティア：3名

学習者の状況

- 買い物は必須行為
- 事前に情報を得たり、わからないことを尋ねて買い物をした経験は無い

学習者の声

- 日本ではチラシを見ない
- チラシの言葉がわからない
- 店員にわからないことを質問したことがない

目 標

チラシで欲しい物を事前に
調べて買い物ができる

活動の流れ

→ 活動案P.64 ポスターP.65

1日目：9月19日(土) 19:00～20:30 (90分)		
活動1	20分	チラシの役割を知る
活動2	20分	チラシの中から欲しいものを選び、理由を話す
活動3	20分	買う物を決める
活動4	15分	買い物の時に質問したり、お願いすることを練習する
確認1	15分	今日学んだことをふりかえる
2日目：9月20日(日)10:00～11:30 (90分)		
活動5	60分	店で買い物する
確認2	30分	買い物をふりかえる
3日目：9月27日(日)13:00～15:00 (120分)		
活動6	120分	自分たちで買ったものを使ってバーベキュー会に参加する
4日目：10月24日(土) 19:00～20:30 (90分)		
確認3	60分	活動をふりかえる
活動7	30分	お礼状を書こう



カリキュラム案
について

P.30～41



教材例集 P.93～105

事前の準備・下調べ

- 国際交流協会を通じて、候補となる協力店に協力を文書で依頼する。
- ドラッグストアの店員に活動の目的を説明し、具体的に協力をお願いする。
- スーパー、ホームセンター、ドラッグストアのチラシを用意する。
- 日本語教室のバーベキュー会に活かすために、購入品のガイドライン(品物・費用)を確認する。

実践活動

活動1

チラシの役割を知る

1. 色々なチラシを見て、チラシについて知っていることを話し合いました。
2. 母国のチラシについて話し合いました。



用意したもの

- ・スーパー、ホームセンター、ドラッグストアなどのチラシ
- ・ワークシート



学習者からこんな日本語ができました

- ☆ 日本で、チラシを見たことありません。
- ☆ チラシで、安いもの みます。



こんなことばを覚えました

お得、セール 割引 本日限り
ポイント5倍デー

活動2

チラシの中から欲しいものを選び、理由を話す

1. 知っていることばをチラシからさがしました。
2. 好きなチラシを見ながら、欲しい物を選びました。
3. 欲しい物と選んだ理由を話しました。



用意したもの

いろいろなチラシ・付箋・ワークシート



学習者からこんな日本語ができました

- ☆ お得なことば、割引です。毎日使いますから
- ☆ 牛肉が欲しいです。美味しいですから



こんな日本語を伝えました

★漢字の読み方、意味が わかりますか。

活動 3

買う物を決める

1. 買う物をチラシの中からさがし、付箋に書きました。
2. 「チラシにはないけれど買いたい物」を付箋に書きました。
3. 買い物リストを作りました。
4. 買い物の時にお店の人に質問することを話し合いました。



用意したもの

買い物に行くお店のチラシ
ワークシート



学習者からこんな
日本語ができました

☆ 火をつけます。
チューブ? ジェル? 何ですか。



こんな日本語を
伝えました

★着火剤と言います。



こんなことばを
覚えました

紙コップ 紙皿 割り箸
お茶パック サランラップ
虫よけスプレー

活動 4

買い物の時に質問したり お願いすることを練習する

1. 学習者が客、ボランティアが店員になって、わからないことを質問する練習をしました。
2. 相手をかえて練習しました。



用意したもの

ロールプレイ指示カード
店内商品配置図
領収書見本



学習者からこんな
日本語ができました

☆ いつもはいくらですか?
☆ 紙コップはどこにありますか?



こんな日本語を
伝えました

★こちらでございます。



こんなことばを
覚えました

領収書を書いてください。
あて名 但し書き

確認 1

今日学んだことをふりかえる

学んだことをみんなでふりかえりました。

活動 5

店で買い物する

1. 買い物の分担を決めました。
2. お店の人にわからないことを質問しました。
3. お店に売っている物で、お得な物をさがしました。
4. 欲しい物を買いました。
5. 領収証を書いてもらいました。



学習者からこんな
日本語ができました

☆(水は)1本78円、6本380円、お得でした。

☆着火剤と炭はどこにありますか。

☆領収証とあて名 KIFAV(という日本語) 忘れた(ので)「前の人と同じです」と言った。

☆「(サランラップの) 箱の色はなんですか」(と聞いたら)「サイズがちがいます」と(店員が) 言った。

確認 2

買い物をふりかえる

今日の学習でわかったこと、わからなかったこと、できたこと、できなかったことをふりかえりシートに記入しました。



用意したもの

ふりかえりシート

活動 6

自分たちで買ったものを持って バーベキュー会に参加する

1. 日本人スタッフと一緒に、火おこしや材料を準備した後、グループに分かれバーベキューをしました。
2. 食べ終わった後は、みんなで片づけをしました。



学習者からこんな
日本語ができました

☆フィリピンのバーベキューはエビが多いです。♡

☆ベトナムは、にんにくも焼く。

☆味つけは、タイは、もっとからい

☆ビールがほしいです。



ここがポイント!

交流も兼ねているので、心開いて話ができますね。

確認 3

活動をふりかえる

1. 1日目から3日目の活動の写真を見ながら、どんなことをしたか、どんなことを話したかふりかえりました。
2. 写真を台紙に並べ、その時の活動を付箋に書きました。



用意したもの

活動の記録写真
付箋



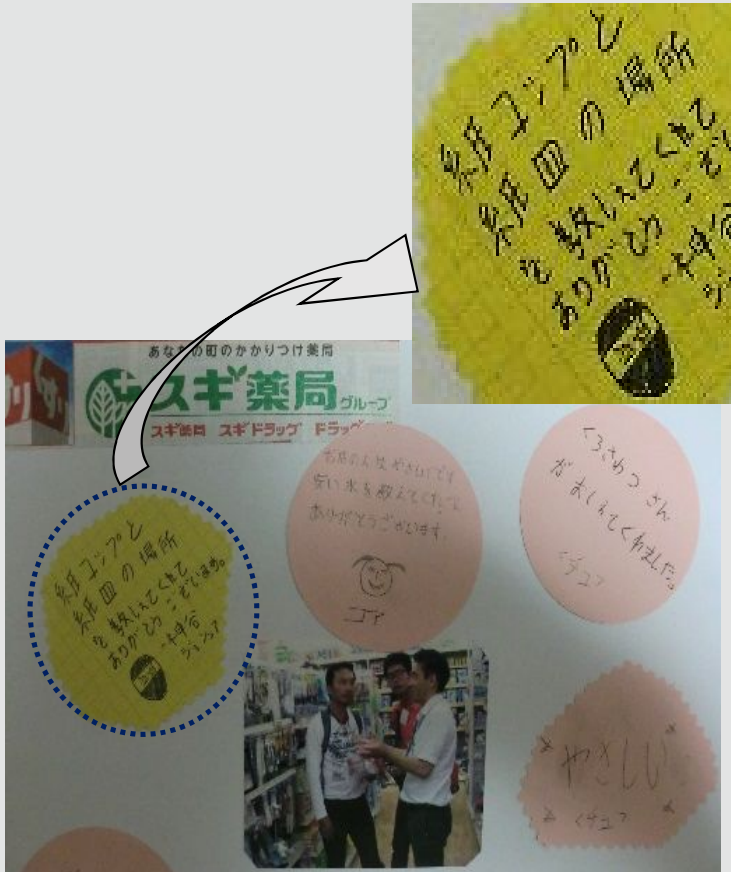
学習者からこんな
日本語ができました

☆良い経験をしました。
☆なかなか、楽しいことがいっぱい。
☆日本人とたくさん話をしました。
テントの張り方を話しました。
☆バーベキューの準備の仕方が
わかりました。
☆他の国の人と友達になりました。

活動7

お礼状を書く

2日目の協力店舗へ、お礼の寄せ書きをしました。



ここがポイント!

一連の活動を通して、地域の人とつながること、いつもとは違うボランティアとつながることで相互理解が深まります。日本語使用も増え、学習者もこの活動の意義を実感することができたと思います。

実践を終えて ～ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと～

- ◇ 学習者の国のチラシとの違いを聞き出したり、好きな物が何かを聞き、学習者に説明してもらうことによって興味を引き出すことができた。
- ◇ 初日の活動で、学習者の日本語レベルの事前の確認が、十分な活動支援に必要であることを再認識した。
- ◇ 活動後の「ふりかえり」が、必要な言葉の定着につなげるために重要だとわかった。
- ◇ 実際の店舗での活動を取り入れたことにより、地域に対して外国人生活者の実状について発信することができ、お互いが共生していくことのきっかけ作りができた。
- ◇ 1日目から3日目までの活動の写真、使用した資料、活動での成果物を提示しながら話をすることで、薄れていた記憶も蘇り、徐々に話も盛り上がり、楽しくふりかえりをすることができた。
- ◇ 学習者がふりかえりの内容を付箋に書きながら進めたことにより、情報の共有ができ、発話を促すことができた。
- ◇ 学習者の日本語能力の差による発言頻度をコントロールしきれなかった。
- ◇ 学習者に企画段階から入ってもらうことにより、さらに良いカリキュラムができると思った。
- ◇ 行動体験型カリキュラムでは実践の場が重要であるが、地域の協力を得るには協会や市役所の協力体制も必要である(今回は協会の協力を得て実現した)。



大切だと思ったこと

- 学習者にとって日々の生活に直結する活動テーマを選ぶ。
- 日々のふりかえりで学習者の気づきや実践した後の言葉が定着する。
- 良い活動にするには、テーマについて学習者の要望を良く聞くこと、実践の場を関係団体と連携して作ることが重要である。

6

日本の銀行のATMをうまく使おう

教室開催日：土曜日の午前

学習者：中国・韓国・ベトナム・フィリピン・タイなど。

レベル：入門から上級まで 普段は少人数グループで教室活動を行っている

学習者：12名(中国・韓国・ベトナム・タイ・フィリピン・アメリカ・フランス)

ボランティア：5名

外部協力者：1名

学習者の状況

- 給与の入金のため日本の銀行口座は持っている
- ATMは現金をおろすときのみ使う

学習者の声

- 手数料のことがよくわからない
- 母国へ送金したい

目 標

- 日本の銀行ATMをうまく活用できる
- 友達にATMの使い方を教えることができる

活動の流れ

→ 活動案P.66 ポスターP.67

1日目：10月10日(土) 10:30～12:00 (90分)

活動1	25分	日本の銀行ATMについて基本知識を知り、日本語で説明する
活動2	65分	ATM活用方法について知る

2日目：10月17日(土) 10:30～12:00 (90分)

活動3	90分	ATMを日本語で操作する
-----	-----	--------------

3日目：10月31日(土)10:30～12:00(90分)

確認1	90分	活動をふりかえる
-----	-----	----------



カリキュラム案
について

P.56～59



教材例集 P.106～115

事前の準備・下調べ

- 銀行の方との打合せ
- 銀行ATMの写真撮影およびスライドの作成

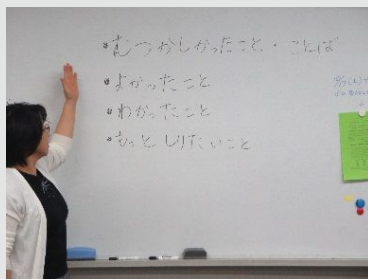
活動 1 日本の銀行ATMについて基本知識を知り、日本語で説明する

1. 日本の銀行ATMを使ったことがあるか？ 銀行口座を持っているか？学習者が挙手・発表しました。
2. 日本のATMをどのように活用しているのかを学習者が説明しました。



活動 2 ATM活用方法について知る

1. ATMの使い方や活用方法について銀行の方の説明を聞きました。
2. どんな言葉がわからなかったか、グループで話し合いました。
3. グループで話したことを全体で発表しました。
4. できたことや難しかったことをワークシートに記入し、伝え合いました。



学習者からこんな日本語ができました

☆お金をおろす、お金を入れる



こんなことばを覚えました

ATM 口座 預け入れ
引き出し 残高照会 通帳記入



ここがポイント！

覚えてほしい日本語をどう伝えるか？こちらで準備して提示するより、学習者から引き出したり、自ら見つけたたりできる工夫があるといいですね。



学習者からこんな日本語ができました

☆銀行がつぶれたら、お金はどうしますか？



こんなことばを覚えました

海外送金、補償金、窓口



ここがポイント！

外部協力者は、必ずしもわかりやすい日本語で話してくれるわけではありませんし、逆に外国人だからといって、必要以上にゆっくりやさしい日本語で話をされても、意味がなくなってしまうです。前もって、プログラムの趣旨をきちんと伝えておくことが大切です。

活動 3

ATMを日本語で操作する

1. 前回でてきた言葉について復習しました。
2. 銀行へ行き、銀行の方の話を聞きました。
3. 実際にATMを使ってみました。
4. 銀行の方へ質問しました。
5. できたことや難しかったことをワークシートに記入し、伝え合いました。



学習者からこんな
日本語ができました

- ☆レートはどうですか?
- ☆中国の銀行に送れますか?
- ☆留学生も口座は作れますか?



こんなことばを
覚えました

手数料無料、移動ATM



ここがポイント!

外に出向く活動では、なかなか難しいかもしれませんが、その日の活動をその日にふりかえることは重要です。下見をしてふりかえりをする場所を確保したり、その場で臨機応変に工夫できるといいですね。

確認1

活動をふりかえる

1. 前回の内容をふりかえりました。
2. 難しい言葉や、疑問に思ったことを話し合い、発表しました。
3. 質疑応答をしました。
4. グループで話したことを全体で発表しました。



学習者からこんな
日本語ができました

- ☆ 為替



ここがポイント!

写真を見ながらふりかえると、一緒に活動できなかった他の人たちにもよく伝わります。学んだこと、体験したことを、学習者が自分のことばで伝えることで、日本語がより定着しますね。

実践を終えて ～ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと～

- ◇ 銀行のことがよく理解でき、自分の体験を人に伝えることができたのはよかった。
- ◇ 学習者に役立つテーマであったか?の疑問が残った。
- ◇ 「もっとやりたいこと」では日本文化に関するテーマのニーズが高かった。



大切だと思ったこと

テーマは担当者だけで決めずに、ボランティア・学習者全体で話し合っ決めていい。



ここがポイント!

ボランティアからは、テーマがニーズにあっていたのか疑問であるとの声も出ていますが、当日は、学習者の顔が生き生きしているのが印象的でした。最後の確認の時間に、学習者から「他にこんなテーマをやりたい」という意見がたくさん出ていましたが、それは、今回の活動が楽しかったからではないでしょうか。



7

ハローワークへ 行ってみよう

教室開催日：金曜日の午後1時半～3時（季節休暇有り）

学習者：中国、台湾、韓国、ミャンマー、スペイン、コロンビア、ロシア他
日本人の配偶者、日本で仕事、日本語教師、短期滞在と様々

レベル：入門から上級まで目的やレベルに合わせた少人数グループ制

学習者：6名（台湾 ミャンマー 中国 コロンビア スペイン 韓国）

ボランティア：4名

※ 3日目 学習者11名 ボランティア13名

外部協力者：2名

学習者の状況

- 日本語中級の学習者は今すぐにも仕事が見たい
- 初級の学習者ももう少し日本語が上達したら働きたいと思っている



目 標

ハローワークへ行って
仕事を探せるようにする

学習者の声

- 仕事の情報が欲しい
- ネットで探すのだが、その後の一歩が踏み出せない

活動の流れ

→ 活動案P.68 ポスターP.69

1日目：10月2日（金） 13:30～15:00（90分）

活動1	65分	ハローワークってこんなところ
活動2	20分	ハローワークまでの行き方
確認1	5分	ふりかえり

2日目：10月9日（金） 13:30～15:00（90分）

活動3	30分	ハローワークを実際に利用してみる（移動時間20分）
活動4	30分	パソコンで仕事を探す
確認2	10分	ふりかえりシートに記入する

3日目：10月16日（金） 13:30～15:00（90分）

確認3	45分	ハローワークってこんなところだった！
活動5	30分	礼状を書く
活動6	15分	クラス全員の前で感想を発表する



カリキュラム案
について

P. 137～138

事前の準備・下調べ

- ハローワークの場所、交通手段と所要時間の確認
- ハローワーク見学と解説の依頼
- 教室内でのハローワーク説明をボランティアに依頼

ハローワークって こんなところ

ハローワークについての説明を聞きました。

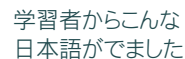
- 求人の受付と紹介
- 就職支援活動
- 雇用保険の取り扱いと雇用促進事業



- ホワイトボード
- ハローワーク説明用レジューメ
- ワークシート(案内チラシ・写真)

ハローワークまでの行き方

1. 実際に行く方法を確認しました。
2. AIA口ビーに集合組と現地集合組の最終集合地と時間を決めました。

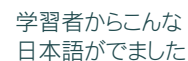


☆資格って日本語能力試験のこと？
☆〇〇がしたいけどそれには資格が
要りますか？



★いままでどんな仕事をしてきましたか？

★その時ライセンスが必要でしたか？



☆前に一度行ったことがあるから直接
自分で行けるとおもいます。



★遅れる時や迷子になった時には
ボランティアに電話をください。



行き方や集合場所、連絡方法をきちんと確認しておくことは、普段の生活の中でも重要です。

活動 3 ハローワークを実際に見学してみる

1. ハローワークを見学しました。
2. 就職支援担当者から説明を聞きました。



用意したもの

求人ファイル
各種パンフレット
ワークシート



学習者からこんな
日本語ができました

☆母語の求人ファイルがある!
でも日本語能力を求められる仕事
は日本語で書いてある・・・冷汗
☆ひとりで来た時には声を掛けられ
ないよう係りの人と目が合わないよ
うにして急いで見て急いで帰った。

活動 4 パソコンで仕事を探す

1. パソコンを使ってホームページを検索してみました。
2. 必要事項を入力しました。
3. 母語の求人票も使いながら、条件に近い仕事を探しました。



学習者からこんな
日本語ができました

☆PCで探せるのならハローワークに
来る前に調べてから来ても大丈夫
・・・日本語入力です。



こんな日本語を
伝えました

★係りの人に声を掛けることが
できそうですか?



ここがポイント!

訪問場所の広さ、そこでできること
を事前に把握し、参加者の人数と
のバランスを考えて活動計画を立
てたことが成功の秘訣でしたね!

確認 2 ふりかえりシートに記入する

1. ハローワークを訪問した感想を話し合いました。
2. ふりかえりシートに記入しました。



用意したもの

ふりかえりシート



確認 3 ハローワークってこんなところだった！

2回の活動に参加した感想を話し合いました。

活動 5

礼状を書く

就職支援担当者に礼状を書きました。



用意したもの

一筆箋



学習者からこんな
日本語ができました

- ☆ 外国人専用窓口がある
- ☆ 求人条件は「N2以上」が多い
- ☆ 職業訓練など求職以外の活用もできる
- ☆ 説明してくれた担当の方にお礼が言いたい
- ☆ N2合格をまず目指したい!
- ☆ クラスのみんなにも是非行くことを勧めたい!



こんな日本語を
伝えました

- ★ 感謝の気持ちを一筆箋に書いてお礼をしましょう。
- ★ 今度からはひとりでも行けそう?



ここがポイント!

自分たちが体験したことを、自分たちの日本語で説明できたことが、とてもよかったですね。

活動 6

クラス全員の前で感想を発表する

ハローワークへ行った感想を一人ずつ発表しました。



実践を終えて ～ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと～

- ◇ 学習者は日本語運用能力にかかわらず仕事に就きたいと考えていると気づかされた。
- ◇ ハローワークでは学習者の顔が生き生きとしていた…体験学習のいいところだと思う。
- ◇ ハローワークで説明を聞き、理解を深め、求職体験もし、担当者にお礼状も書いてよかった。
- ◇ ふりかえり時間の最後にクラス全員の前で活動の感想を発表したことによって、学習者は日本語での表現に自信を持てたようでよかった。



大切だと思ったこと

- ボランティアが興味を持って活動すれば学習者もいい体験ができる。
- ふりかえりの時間をしっかり取り、学習者自身がクラスで発表することでとてもいい勉強になる。

病気になったら どうしますか

教室開催日：木曜日10:00～11:30・土曜日19:00～22:30 日曜日10:00～11:30
 学習者：中国・台湾・ベトナム・インドネシア・タイ・フィリピン他
 レベル：入門からN1まで

学習者：21名（ベトナム・中国・フィリピン・台湾）
 コーディネーター：3名
 ボランティア：5名

学習者の状況

同じ国の技能実習生で、仕事が忙しく、仲間と過ごすことが多い

学習者の声

- 日本人の生活や文化に興味はあるが、それに接する機会は少ない
- 日本の医療機関にかかる場合に不安がある

目標

○ 適切な医療機関の情報を
知る

活動の流れ

→ 活動案P.70 ポスターP. 71

1日目:10月25日(日) 10:00～11:45(105分)

活動1	50分	体の名称を確認し、病気になったときに備える
活動2	40分	休日診療所へ行ってみる
確認1	15分	見学したことを話し合う

2日目:11月8日(日) 10:00～11:30(90分)

確認2	45分	わかったことや疑問に感じたことを話し合う
活動3	45分	問診票の記載事項を理解する

3日目:12月13日(日) 10:00～11:30(90分)

活動4	90分	近くの病院について調べる
-----	-----	--------------



カリキュラム案
について

P.14～18



教材例集 P.7～39

事前の準備・下調べ

- 刈谷医師会休日診療所への依頼とポスター作成
- 診察申込書の手配

活動 1

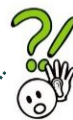
体の名称を確認し、 病気になったときに備える

1. 今までに病気になった時のことを話しました。
2. 体の各部位の名前を確認しました。
3. 病気になったときの医者のかかり方などについて、医師の話を聞きました。
4. 健康保険の大切さを学びました。



用意したもの

- 体の部位の絵
- ワークシート
- ポストイット
- マジック



学習者からこんな
日本語ができました

☆国から持ってきた薬を飲んでいる。
☆いつから、どのように、どこが痛いかを伝えるのが大事。
☆痛さの表現が難しい。

活動 2

休日診療所へ行ってみる

1. 刈谷医師会休日診療所を訪問しました。
2. 当直の医師や看護師から病院に来てからの流れを聞きました。
3. 診察申込書について説明を聞きました。



用意したもの

ワークシート
診察申込み書



学習者からこんな
日本語ができました

☆ほかの市の人も行けるのかな。
☆お医者さんが親切だった。

確認 1

見学したことを話し合う

1. 見てきたことやわかったことを話し合いました。
2. 診察申込書を書いてみました。



学習者からこんな
日本語ができました

- ☆ 病院がきれいだった。
- ☆ ぜんそくがわかりました。
- ☆ 病院にいくハードルが下がりました。

確認 2

わかったことや疑問に感じたことを 話し合う

1. スライドを見ながら、わかったことや疑問に感じたことを話し合いました。
2. 診察申込書を書いてわからなかった言葉を確認しました。



学習者からこんな
日本語ができました

- ☆ 日本の人みんな親切だった。
- ☆ はしかがわかりました。
- ☆ 水疱瘡がわかりました。



こんなこともできる!

診察申込書や問診票は、多言語版
があれば活用してもいいですね。

活動 4

近くの病院について調べよう

1. 自分の家の近くの病院をさがしました。
2. さがしてみても、わかったことを話しました。
3. 協会の職員から「外国人向けの無料医療相談会」の説明を聞きました。



学習者からこんな
日本語ができました

- ☆ 整形外科の意味が台湾とは違いました。
- ☆ 腰が痛いときどこに行くかわかりませんでした。
- ☆ 漢方医学はこの国にもあることがわかりました。
- ☆ カイロプラクティックは保険が効かないのですね。



ここがポイント!

体験だけに終わらず、地域の病院について調べて発表するところまでできたのがいいですね。

実践を終えて ～ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと～

- ◇ 人数が多すぎて、病院の方の説明がみんなに聞こえなかった。
- ◇ 言葉が通じない日本で病院に行くことは難しいと思っていたが、日本の病院の方々はみんな親切で病院に行くことのハードルが下がったようである。
- ◇ 病気ということは避けて通れない課題であると思い実施したが、今度はもっと学習者のニーズを把握してから行いたい。
- ◇ 知らない土地で病気になった時の不安を常に抱えて生活している学習者にとっては、とてもよい経験になったようである。
- ◇ ボランティアが行動・体験型の活動の良さに気付いた。



大切だと思ったこと

地域の関係機関と協働することが大切

9

地震時の
緊急対応

教室開催日：土曜日午後2時から

学習者：バングラデッシュ・パキスタン・インド・カザフスタン・中国・ミャンマー・
ブラジル・ペルー・インドなど。

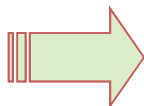
レベル：サバイバルから上級まで

学習者：12人（バングラデッシュ・パキスタン・インド・カザフスタン・中国・ミャンマー・
ブラジル・ペルー・インド）

ボランティア：9人

学習者の状況

- 学習者は愛知県内の様々な地域から来ている
- 仕事で来日の人・日本人と結婚して来日し、家族で住む人等々



目 標

防災用品の必要性を知り、
地震にあったとき、自分の
身が守れるようになる

学習者の声

地震に遭ったことがないので、怖い

活動の流れ

→ 活動案P.72 ポスターP.73

1日目：9月26日(土) 14:15～15:30 (75分)

活動1	15分	地震について知る
活動2	15分	地震が来たときの避難の体験をする
確認1	45分	第1回の活動をふりかえる

2日目：10月31日(土) 14:00～15:30 (90分)

活動3	15分	なぜ防災用品が必要かを学ぶ
活動4	30分	防災用品を学ぶ
確認2	45分	2回の活動をふりかえり、防災の大切さに気づく

カリキュラム案
について

P.22～25



教材例集 P.55～71

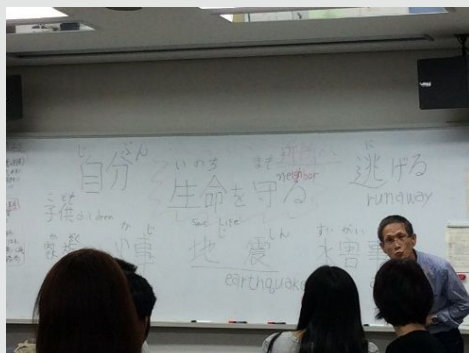
事前の準備・下調べ

- 地震に関する言葉を調べる
- 防災用品・非常食を準備する

活動 1

地震について知る

1. 地震とはどういうものか、説明を聞きました。
2. 初期行動について説明を聞きました。



学習者からこんな
日本語ができました

- ☆ 日本で初めて地震を体験してビックリした。
- ☆ 良かった。勉強になった。

活動 2

地震が来たときの避難の体験をする

地震が来たときの身の守り方と建物の安全な場所への避難を体験しました。



こんな日本語を
伝えました

- ★揺れがおさまるまでは、机の下などで、頭と身体を守り、揺れがおさまったら、安全な場所に避難しましょう。



学習者からこんな
日本語ができました

- ☆ 大丈夫です。



こんなこともできる!

実際に体を使って行動・体験することで、地震への心構えができます。乗り物に乗っているときや別の場所ではどうすればいいかを話しあっておくのもいいですね。

活動 3

なぜ防災用品が必要かを学ぶ

防災用品がなぜ必要なのか、説明を聞きました。



こんな日本語を
伝えました

★ライフラインが失われたとき、
救援隊が来るまでの間、命をつ
なぐのが防災用品です。



学習者からこんな
日本語ができました

☆子どものための品物の準備を
考えたい。
☆防災用品を用意していないの
で、参考にして準備します。



ここがポイント!

避難袋を持ち寄ったリアリティのある
活動は、学習者にはもちろんですが、
ボランティアにとっても気づきが多い
活動になると思います。

活動 4

防災用品を学ぶ

ボランティアが持ち寄った防災用品について、使い方を
織り交ぜて説明を聞きました。



学習者からこんな
日本語ができました

☆カイロを初めて見た。
☆水を入れる折りたためる、ポリ容
器は軽くて、とても良い物だともう。



こんな日本語を
伝えました

★ラップは大事



こんなこともできる!

説明するだけでなく、学習者の国の
防災用品について聞いてみると、さら
に会話が広がって面白いかもしれ
ませんね。



用意したもの

避難袋 防災用品

確認 2

2回の活動をふりかえり、 防災の大切さに気づく

2回の活動をふりかえって、どんなことがわかったか、
どんなことを思ったか、話し合いました。



学習者からこんな
日本語ができました

- ☆日本では地震が多い事を知り、
水と食料品を用意したい。
- ☆暖房用品 (ビニールシート・カイ
ロ) を知った。
- ☆高層マンションに住んでいるから、
ロープが必要だとわかった。

実践を終えて ～ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと～

- ◇ 日本は地震が多いことを学習者が理解でき、地震の時にはどの様に自分の身を守るかを学んだ。
- ◇ 大地震では、ライフラインも失われる為、防災用品の準備と必要性に学習者が気づいてくれた。
- ◇ 実践活動は、日本を知り、日本に親しむきっかけにはなると思うが、日本語の勉強に効果があるか? (ボランティアの準備に掛ける時間等の負担に比べて)
- ◇ 今回は実践活動の手順や内容について初めてのことで、このように難しく学んだが、次回からはあまり書類にこだわらないで、もっとシンプルに行いたい。
- ◇ 防災ボランティアを活用すると、もっと楽に充実したものになると気づいた。
- ◇ 実践教室はイベント性があるから、学習者とボランティアが打ち解けあえる。



大切だと思ったこと

- 発表を想定して、行動実践講座のテーマを選択・決定する。
- 実践を始める前には、ボランティアは十分な準備をする時間が必要。

10

地震について 知ろう

教室開催日：毎週水曜日・金曜日 10:00～11:30

学習者：国籍は20カ国以上で、女性が多く参加

レベル：初級から上級までクラス多数

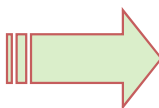
学習者：22名(5日目 タイ・ミャンマー・台湾・インド・トルコ・フィンランド中国)

ボランティア：10名(5日目)

外部協力者：4名

学習者の状況

- 日本にまだ短期間しか住んでいない人から長く住んでいる人までいる
- 大きな地震を知らない人が多い
- 避難所などを知らない人が多い



目 標

地震のとき、身を守ることができる

学習者の声

- 地震は知っているけどどうしたらいいかはわからない
- 避難・非常持出袋って何?

活動の流れ

→ 活動案P.74 ポスターP.75

1日目：9月30日(水) 10:00～10:30 (30分)

活動1	25分	自然災害をイメージする
確認1	5分	学んだことをふりかえる

2日目：10月7日(水) 10:00～10:30 (30分)

活動2	20分	大きな地震ではどんなことが起こるか考える
確認2	10分	学んだことをふりかえる

3日目 10月14日(水) 10:00～10:30 (30分)

活動3	25分	地震のときに聞くことばを聞いてみる
確認3	5分	聞き取った速報について発表する

4日目 10月21日(水) 10:00～11:30 (90分)

活動4	60分	講座『地震がおきたらどうしますか』を聞く
活動5	25分	わからなかったことを講師に聞く
確認4	5分	講座を受けてわかったことをふりかえりシートに記入する

5日目 10月28日(水) 10:00～11:30 (90分)

活動6	90分	地震が起きる前にすること、起きた後ですることを考える
-----	-----	----------------------------



カリキュラム案
について

P.22～25



教材例集 P.55～71

事前の準備・下調べ

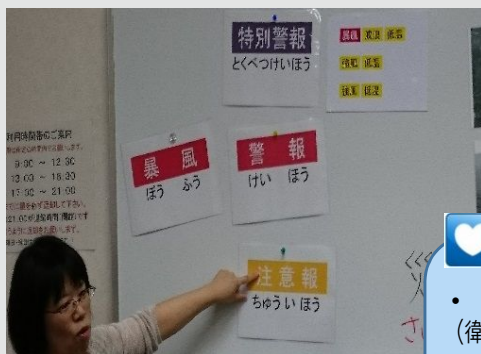
- ボラネットなか・NICとの三者打ち合わせ1回
- NICとの打ち合わせ(メール14回+打ち合わせ数回)
- 見学者用の名札
- 見学者用の当日のお願い(プリント)

実践活動

活動 1

自然災害をイメージしよう

1. どんな自然災害があるか話し合いました。
2. 実際に経験した災害について発表しました。



用意したもの

- ・ 台風関連の写真 (衛星写真・台風予報円・土砂崩れ・暴風等)
- ・ ホワイトボード
- ・ 自然災害の写真 (干ばつ・噴火・火山灰等)
- ・ ふりかえりシート



学習者からこんな
日本語ができました

☆干ばつは分からなかった。
☆地震と噴火とどっちが怖い?
私は噴火だと思う。
☆日本で初めて地震にあった時、
すごくびっくりした。

活動 2

大きな地震ではどんなことが 起こるか考える

1. 大きな地震で起こることを考えました。
*津波、火事、建物の倒壊
2. 地震が起きてひどい状態になっても、必ず復興していくことを確認しました。
3. 復興させるには、自分が元気に生きていなければならないことを確認しました。



学習者からこんな
日本語ができました

☆怖いね。
☆ちゃんと直るね!すごいね



ここがポイント!

震災の写真を見ると、怖さのイメージが強くなってしまいましたが、復興後の写真も見ることによって希望ももつことができます。

活動 3 地震の時に聞くことばを聞いてみる

緊急地震速報を聞きました。

1. その中から難しい言葉を取り出し、意味を確認しました。
2. 緊急地震速報以外に地震の時、耳にする言葉を確認しました。
3. 外出中はどうしたらよいか確認しました。



用意したもの

見学者用活動説明書
名札 資料 マイク
プロジェクター

活動 4

講座『地震がおきたらどうしますか』を聞く

1. 地震の動画を見ました。
2. スライドを見て地震の前に準備すること(避難所の場所・非常持出袋の準備等)を学びました。
3. 避難してからの動きを学びました。
4. ボランティアと一緒にゴミ袋でカップ、キッチンペーパーでマスクを作りました。



ゴミ袋で
ポンチョができる
べんりですね!



用意したもの

はさみ
輪ゴム
キッチンペーパー

活動 5

わからなかったことを講師に聞く

1. わからなかったことをボラネットの人に質問して確認しました。
2. 『笛』のプレゼントをもらいました。
3. 笛の使い方を確認しました。(災害時の使い方やPERSONAL ID CARDの書き方)



学習者からこんな
日本語ができました

- ☆エレベーターのボタンを全部押すのは知らなかった。
- ☆家具から離れる。
- ☆身の安全
- ☆言ってることはわからないが、危険だとわかった。



学習者からこんな
日本語ができました

- ☆非常持出袋の準備が必要ながわかりました。
- ☆地震の時小学校・公園へ行きます。
- ☆水3日分を用意します。
- ☆帰ったらすぐに非常持出袋を作ります。
- ☆主人と会う場所を決めます。
- ☆机の下で足を掴む。
- ☆カップが上手に出来た。
- ☆マスクが小さかった。



学習者からこんな
日本語ができました

- ☆笛が貰えて嬉しい!ちゃんと名前書く。
- ☆講座の言葉が難しい。
- ☆とても楽しかった。



ここがポイント!

ワークシートは、学習者が理解できるよう、母語で書くのか、ローマ字で書くのか、絵で描くのか、工夫するといいですね。

活動 6

地震が起きる前にすること、 起きた後にすることを考える

1. ボランティアと一緒に活動4, 5を思い出しながら、地震の前と後にすることをイラストカードで分けました。
2. 分けたカードをホワイトボードに貼って発表しました。
3. ボランティアと一緒に自分だけの非常持出袋を作りました。
4. 皆でいないものはどれだったか確認しました。
5. 非常食(かんぱん・缶詰パンなど)を皆で食べて、感想を話しました。



学習者からこんな
日本語ができました

- ☆ チョコレートはいらないと思ったけど、やっぱりいるかも。
- ☆ やっぱり皿はいらない。
- ☆ 『かんぱん』はおいしくない。
- ☆ 缶詰パンはとてもおいしい。



こんな日本語を
伝えました

★ 冷蔵庫の中の物をまず食べます。

実践を終えて ～ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと～

- ◇ 震災だけでなく、復興後の写真があったのは良かった。
- ◇ 協力者の熱のこもった講座で、よく理解できた。
- ◇ 自分も知らないことがあり、勉強になりました。
- ◇ 学習者が前に出て、今まで習った言葉を使って、発表する形にしたかったが、時間の関係でできなかったことが残念だった。(内容を欲張ってはいけない)
- ◇ 学習者にレベル差があるので、均等に話してもらうためにもっと工夫する必要がある。
- ◇ 学習者にとって見学者や知らないボランティアが入ることは怖かったと思う。しかし、知らない人達と話して協働することによって、初対面の日本人とも話せるという自信ができたと思う。
- ◇ いろいろな人たちと協働することによって、活動が広がり、学習者も自分も自信をつけていくことは大切だと思った。



大切だと思ったこと

- 学習者のニーズをしっかりと考えた活動をする。
- 日本語のレベル差がある場合、外国人どうしも助け合えるように座席を配慮する。
- 関わる人たちの間で、活動目的や内容説明、役割確認など、事前の打ち合わせをしっかりとる。

11

災害時に 支援者になろう

教室開催日： 週1回日曜日 15:00～17:00

学習者： ブラジル・ペルー・フィリピン・中国・フランス

レベル： 日本語での日常会話ができる中級以上

1日目 学習者7名、支援者8名（日本語講師1名、JP7名）

2日目 学習者7名、支援者11名（日本語講師1名、JP10名）

3日目 学習者5名、支援者7名（日本語講師1名、JP6名）

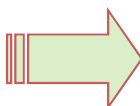
4日目 学習者6名、支援者5名（日本語講師1名、JP4名）

※日本語講師が全体の進行、コーディネートを行います。

※会話や学習のサポートをする日本語パートナー（以下JP）というボランティアも活動を行います。

学習者の状況

- 就労者、日本人の配偶者等
- 国籍は、ブラジル・ペルー・フィリピン・中国・フランス
- 日本語での日常会話ができる



目 標

外国人も支援側になれる
イメージを持つ

学習者の声

- もっと支援者になるための勉強がしたい!
- 災害のことを学びたい!

活動の流れ

→ 活動案P.76 ポスターP.78

1日目:10月4日(日)15:10～17:00 (110分)

確認 1	10分	日本語でできるかな? 活動前 自己評価
活動 1	80分	避難するときのイメージをつかむ
確認 2	20分	日本語でできるかな? 活動後 自己評価 学んだことを家で練習してみよう 次回の宿題

2日目:10月11日(日)15:00～17:00 (120分)

確認 3	20分	復習しよう 前回ふりかえり 日本語でできるかな? 活動前 自己評価
活動 2	80分	避難所体験をしよう
確認 4	20分	日本語でできるかな? 活動後 自己評価 学んだことを家で練習してみよう 次回の宿題

3日目：10月18日(日)15:00～17:00 (120分)		
確認 5	10分	前回学んだことを復習しよう
活動 3	100分	学んだことを発表する
確認 6	10分	日本語でできるかな? 活動後 自己評価 学んだことを家で練習してみよう 次回の宿題
4日目：10月25日(日) 15:00～17:00 (120分)		
確認 7	10分	前回学んだことを復習しよう
活動 4	110分	できることの洗い出しと目標をつくろう ふりかえりと提言



カリキュラム案
について

P.22～25



教材例集 P.55～71

事前の準備・下調べ

- 岡崎市防災危機管理課と当日のワークシートを参考に出前講座の打ち合わせ
- 出前講座の講師にやさしい日本語で話してもらうよう説明する。
- 岡崎市防災ガイドブックを防災危機管理課から入手
- 活動のイメージ導入のためのビデオ・DVDを探す。

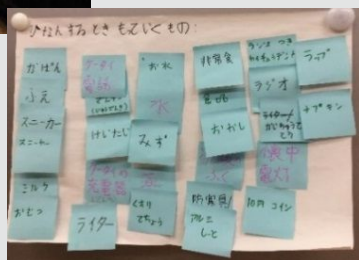
活動 1 避難するときのイメージをつかむ

1. 避難訓練をしたことがあるか、普段の生活でできることを話しました。
2. 地震が起こるとどうなるか、ビデオを見ました。
3. 岡崎市防災ガイドブックの「いつ・どこへ避難する?」を見て、避難の仕方を確認しました。
4. 自宅や職場から避難場所を確認し、地図を作成しました。
5. 自宅や外出先にいる時に、避難する上で注意することを話しました。
6. 災害時に外国人が困ると思うことを挙げてもらい、その対策を考えました。
7. 避難するのに必要なものを付箋に挙げて、発表しました。



用意したもの

- ・ワークシート
- ・仙台国際交流協会DVD
「多言語防災ビデオ 地震! その時どうする?」
- ・岡崎市防災ガイドブック



学習者からこんな
日本語ができました

- ☆ 地震発生から避難所までに行くまでに使う単語が学べてよかった。
- ☆ 日本語ができないと支援ができないと思っていたが、他にもできることがあるとわかってよかった。

活動 2 避難所体験をしよう

1. 避難所のビデオを見ました。
2. 市職員に避難所の話を聞きました。
3. 簡易トイレ・非常用テントを組み立てました。
4. 避難者名簿を書いてみました。
5. 外国人が支援者になるための要望、講義の感想等を発表しました。
6. 避難所に行かないために備えることを聞く。
7. 普段の生活で意識できること、避難所で支援者としてできること、または助けてほしいことを話しました。



学習者からこんな
日本語ができました

- ☆ 備蓄・家具の固定をすると避難所に行かなくても大丈夫です。
- ☆ 貼り紙にふりがな、絵・写真がたくさんあると外国人も分かりやすいし、助けを借りなくても何をすればいいかわかります。



用意したもの

- ・ワークシート
- ・避難所のビデオ
- ・プロジェクター
- ・非常用テント
- ・簡易トイレ
- ・毛布
- ・A3用紙
- ・避難所名簿(多言語版)

活動 3

学んだことを発表する

1. 「地震発生から避難所まで」と「避難所」別に学習したことを話しました。
2. 災害に関する言葉を簡単にしてみました。
3. 災害時に外国人が役に立てることを紙に書きました。
4. グループ別に前に立って発表しました。



用意したもの

- ・前々回、前回のワークシート
- ・A3用紙
- ・ペン



学習者からこんな日本語ができました

- ☆日本語のわからない友達を避難所に連れて行きます。
- ☆避難所で困っている人の通訳をします。
- ☆避難所にある貼り紙の日本語を読んで通訳するのは難しいです。ふりがながあるといいです。

活動 4

活動の成果と今後の目標をつくろう

1. 全6回分の防災のCan-do statementsをみて、その項目以外でできるようになったこと、できるようになるといいと思うことを話しました。
2. Can-do項目を作って紙に書き、「書く」「読む」「聞く」「話」「やりとり」を技能別に壁に貼り出しました。
3. ワークシートに書きだし、5段階自己評価を付けたり、今後の目標を作りました。
4. 市や町内会への要望を紙に書いて発表しました。



用意したもの

- ・前々回、前回のワークシート
- ・A3用紙
- ・ペン



学習者からこんな日本語ができました

- ☆避難所の申込書の書き方を教えてあげます。
- ☆自分より日本語能力の高い人が作ったCan-do statementsは勉強になります。
- ☆実際に災害ボランティアをしてみたいです。

この教室では、毎回の活動の最初と最後に、
「前回の復習」と「自己評価」を行いました。
その内容は、次のとおりです。

確認

宿題シート

授業の最初： 前回学んだ内容をふりかえります。
授業の最後： 活動の中で学んだ言葉を3つ選び、次回までの自主学習に活用します。



学習者からこんな
日本語ができました

☆前の授業に勉強したことをもう
一度説明すると、日本語が上手
になります。
☆難しい専門用語を復習できます。

確認

自己評価 日本語でできるかな？

1. 各授業ごとに達成してほしい項目を「Can-do statements」を活用したチェックリストにして、5段階で自己評価しました。
2. 授業前には学習者の現在のレベルを図り、授業後には授業を受けてどの程度内容を理解したかを自己評価しました。

防災②		
0. 宿題シートを 見てください。 前週 勉強したことを ボランティアさんと 話しましょう。		
1. 日本語で できますか？		
	できる——できない	
01	災害時に 身近な 外国人の 「状況」 を 日本人リーダーに 伝えることができる。	1-2-3-4-5
02	日本語で 書かれた 災害の情報を 理解し、外国人に 伝えることができる。	1-2-3-4-5
03	配給物資に関する 張り紙を読み、配給の開始時間や 物品の品名等が分かる。	1-2-3-4-5
04	日本語で書かれた 注意表記などを見て、避難所生活の ルールが 理解できる。	1-2-3-4-5
05	避難所で、日本人リーダーの 指示を 聞き取ることができる。	1-2-3-4-5
2. ビデオを 見てください。		
3. 防災危機管理課の 職員さんの 話を 聞きましょう。 避難所を 来て 生活できる場所にするために、どんな人が協力しているが知りましょう。私たちがその人たちと一緒にできることは何か考えてみましょう。		
4. 私たちが避難所生活で 気を付けることを 知りましょう。外国人にしか できないことで、やってほしいことを 知りましょう。また 一緒に できることを 聞いてみましょう。		



学習者からこんな
日本語ができました

☆難しいことばもあるけど、日本語
の勉強にもなるし、自分のレベル
がわかって便利です。

実践を終えて ～ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと～

- ◇ 私たちが思っている以上に、難しい言葉を理解して勉強したいという意欲があつてすごい!
- ◇ 避難者名簿を書くときに、「世帯主」という日本文化的な考え方が分からなくて説明が必要だった。
- ◇ 学習者自身が、地震が起きた時に周りの人をどう助けるかという視点が日本人よりもよく考えていると感じた。
- ◇ 学習者から出た要望を市や町内会に提案できるといいと思った。
- ◇ 言葉を与えることはせず、引き出す姿勢が大切だと思った。
- ◇ 日本語で書かれていて理解しづらいのではと思ったが、思いの他手間取らずにできていてびっくりした。
- ◇ 言葉の不自由さを克服して、人の役に立ちたい外国人が想像以上に多いことがわかった。
既定のレベルに達していない学習者も、支援者になるための授業を受けたがっていた。
- ◇ 学習者自身に、今の時点で支援できること・今後なりたい目標を考え発表してもらうことで、授業後も自主的に学ぶ姿勢をつくることができた。
- ◇ 支援者になるための授業なので、日本人が普段読む資料を使用した。しかし、やさしい日本語を使った資料をもう少し使い、学習者の負担と意欲を促すようにする必要があった。



大切だと思ったこと

- 学習者の学びたいことと活動内容が合致すると継続的に参加してくれる。
- 日本人が教える立場に回る必要はない。一緒に学びあう姿勢が大切。
- 行動・体験に重きを置くのではなく、その後何を学んだか学習者自身がふりかえる時間をとることで学んだ日本語が定着する。積極的に話してもらい自身の言葉で発表してもらうことが大切。

教室名	実践活動テーマ	ページ	教室開催日時	開催場所
いろは日本語の会	目的地に行こう	6	木曜日 10:30～12:00	名古屋市中区
ことばの会	地震について知ろう	44	水曜日・金曜日 10:00～11:30	名古屋市中区
プラザにほん語教室	自転車のルールを知ろう	10	火曜日 13:30～15:00	名古屋市中区
	ハローワークへ行ってみよう	32	金曜日 13:30～15:00	
	買いものをしよう	18	金曜日 19:00～20:30	
	日本の銀行のATMをうまく使おう	28	土曜日 10:30～12:00	
	地震時の緊急対応	40	土曜日 14:00～15:30	
Vivaおかざき!!	災害時に支援者になろう	48	日曜日 15:00～17:00	岡崎市
KIFA日本語支援 グループ	病気になったらどうしますか?	36	木曜日 10:00～11:30	刈谷市
	チラシを見て買い物をしよう	22	土曜日 19:00～20:30 日曜日 10:00～11:30	
日本語教室 おしゃべりひろば	買い物に行きましょう	14	日曜日 10:00～11:30	愛西市